

成果指標				
成果指標	設定しない。			
指標設定の考え方	議会運営に関するものが、主なものであり指標は設定しない。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	0	0	0	0
実 績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	議会改革の重要項目である議会活性化の集大成により議員定数の見直し及び議会基本条例の制定の2項目について、今後検討協議することになっており、議会議員の責務に基づき、議員定数の見直しについては、本格的議論を行い6月定例会に定数条例改正に向けて協議している。議会基本条例制定については、議員任期中に制定するとの確認が取れており、今後具体的に議論を深めて行く必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	議会が果たすべき大きな役割の一つに市民に開かれた議会の実現と議会の活性化がある。議会改革特別委員会では、この課題解決のためこれまで二十数項目に渡って検討を重ね、逐次、実施に移しているところで、任期残すところ1年となった今、今後の検討は議会基本条例の制定と議員定数の見直しのみとなった。議員定数の見直しについては、現在、各議員検討中であるが、4月以降2回程度の協議を重ねて6月議会での条例改正に向け取り組まれない。また、議会基本条例については、議員定数条例の改正によって全ての検討が終わることから、今年9月以降の早い時期に議会基本条例(案)を作成協議し、内容を固め、次期改選後に正式に条例制定できるよう取り組まれない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<ul style="list-style-type: none">・予算を計上する際、成果指標についても事前に想定した予算を考えていただきたい。・議会だよりは、議員にアンケートをとり、整備方針内容などを成果指標にしてもよいのではないか。・議会運営については事務局がサポートできることはやっていたい。・事務局の関与があまりない中、事業目的に効率的な開かれた議会運営を行うとある。どの指標を持って効率的、開かれたとなるのか。もう少し検討いただきたい。
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	